



2023年5月12日

各 位

会 社 名 乾汽船株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 乾 康之
(コード番号：9308 東証スタンダード)
問 合 せ 先 経理部長 一井 聡
(TEL. 03-5548-8613)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記の通り、2023年3月31日を基準日とする剰余金の配当について、2023年6月22日開催の第103回定時株主総会に付議することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 剰余金の配当について

(1) 内容

	決 定 額	直近の配当予想 (2023年2月13日公表)	前期実績 (2022年3月期)
基 準 日	2023年3月31日	同左	2022年3月31日
1株当たり配当金	円 銭 178.00	円 銭 171.00	円 銭 218.00
配 当 金 総 額	百万円 4,458	—	百万円 5,453
効 力 発 生 日	2023年6月23日	—	2022年6月23日
配 当 原 資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 理由

2023年3月期の期末配当金については、以下の当社の配当政策における判断基準により、前回発表予想より7円増配の178円となる予定です。

<配当政策>

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つと考えており、業績に応じた配当を基本としつつ、業績にかかわらず一定水準の配当を安定的に維持する配当政策を行ってまいります。基本となる考え方は、「良いときは笑い、悪いときにも泣かない」です。

「良いとき」、「悪いとき」の判断基準及び「笑う」と「泣かない」の具体的な検討の指針は以下のとおりです。

・判断基準

連結当期純利益が、年間500百万円以下の場合を「悪いとき」、年間1,500百万円を超える場合を「良いとき」とします。そして基本となる配当性向の目標を30%と定めます。

「悪いとき」は、安定配当として1株当たり年間6円を目標とします。

「良いとき」は、連結当期純利益が年間1,500百万円を超える部分に対して配当性向50%の配当を目標とします。

「良くもなく、悪くもないとき」は、基本となる配当性向30%の配当を目標とします。

以上

(参考) 年間配当金の内訳

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2023年2月13日公表)	円 銭 6.00	円 銭 171.00	円 銭 177.00
当期実績	6.00	178.00	184.00
前期実績 (2022年3月期)	6.00	218.00	224.00